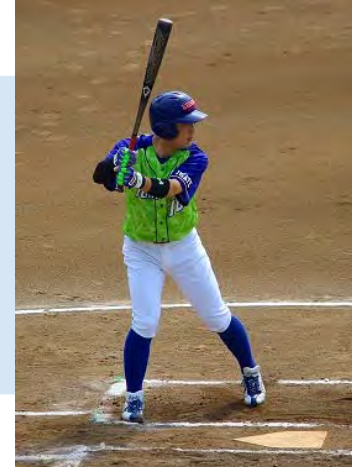
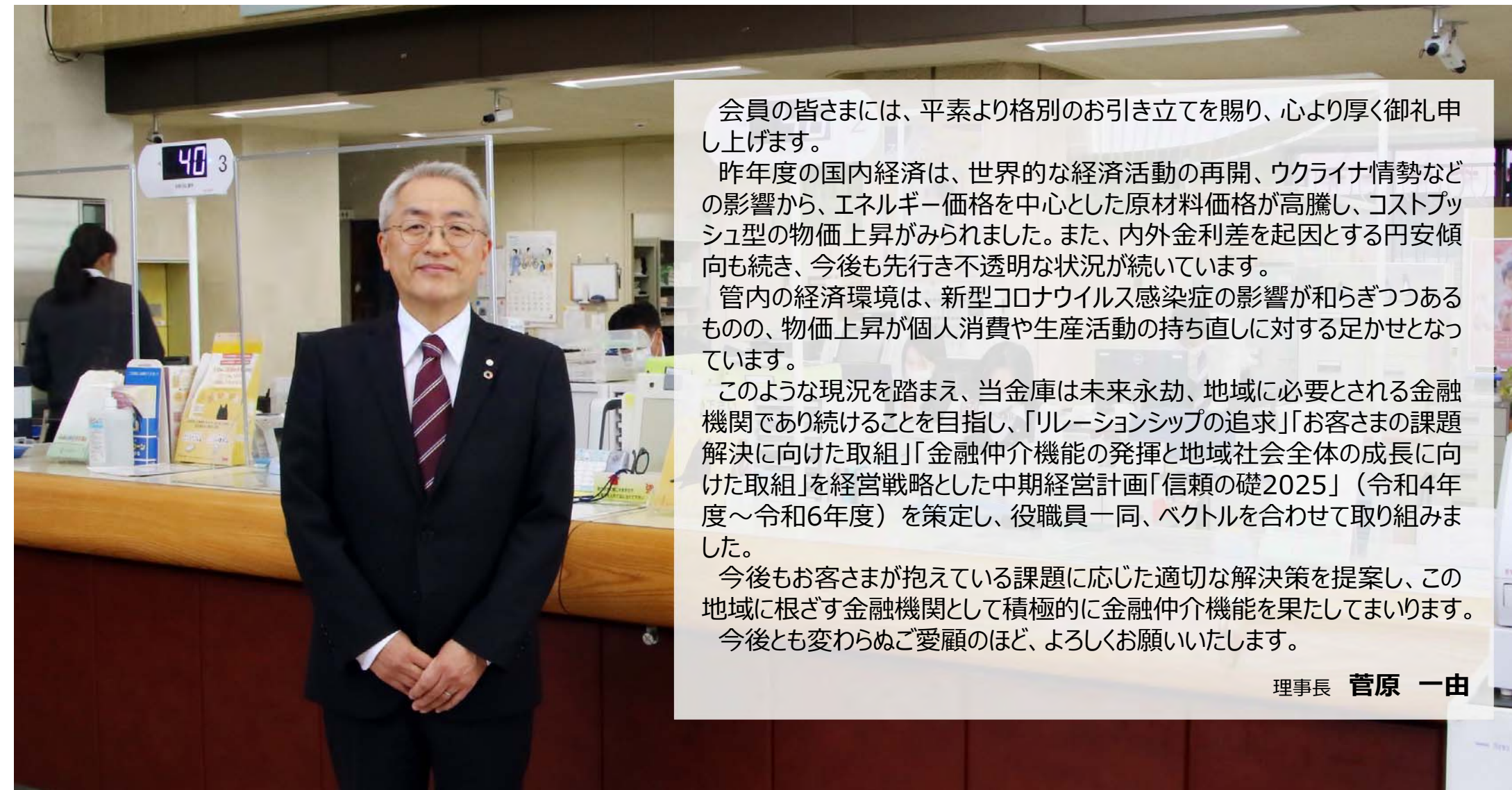




第74期 業務報告書



ごあいさつ	…3		
一関信用金庫について	…4		
I. 令和4年度決算サマリー			
1. 収益状況（損益計算書）	…5		
2. 前期比要因分析	…6		
3. 主要勘定残高（貸借対照表）	…7		
II. 令和4年度業績の概要			
1. 直近3か年の推移	…8		
2. 貸出金の状況	…9		
3. 預金積金の状況	…10		
4. 有価証券の状況	…11		
5. 自己資本の状況	…12		
		6. 不良債権の状況（金融再生法開示債権）	…13
		III. 今後の事業展開	
		1. 中期経営計画「信頼の礎2025」	…14
		2. 令和5年度事業計画	…15
		IV. トピックス	
		1. 庶務の概要	…16
		2. SDGsの達成に向けた取組	…17
		その他	
		1. 第74期 令和4年度 貸借対照表	…18
		2. 第74期 令和4年度 損益計算書	…19



会員の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年度の国内経済は、世界的な経済活動の再開、ウクライナ情勢などの影響から、エネルギー価格を中心とした原材料価格が高騰し、コストプッシュ型の物価上昇がみられました。また、内外金利差を起因とする円安傾向も続き、今後も先行き不透明な状況が続いています。

管内の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎつつあるものの、物価上昇が個人消費や生産活動の持ち直しに対する足かせとなっています。

このような現況を踏まえ、当金庫は未来永劫、地域に必要とされる金融機関であり続けることを目指し、「リレーションシップの追求」「お客さまの課題解決に向けた取組」「金融仲介機能の発揮と地域社会全体の成長に向けた取組」を経営戦略とした中期経営計画「信頼の礎2025」（令和4年度～令和6年度）を策定し、役職員一同、ベクトルを合わせて取り組みました。

今後もお客さまが抱えている課題に応じた適切な解決策を提案し、この地域に根ざす金融機関として積極的に金融仲介機能を果たしてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

理事長 **菅原 一由**

一関信用金庫について

一関信用金庫の概要

<令和5年3月31日現在>

- 創立……………昭和23年7月16日
- 出資金……………7億4千9百万円
- 預金残高……………2,421億円
- 貸出金残高……………950億円
- 会員数……………16,052名
- 本店所在地……………岩手県一関市幸町5番5号
- 店舗数……………16店舗
- 店舗外ATM……………9か所
- 役職員数……………200名
- 営業区域……………岩手県一関市・
奥州市・大船渡市・
陸前高田市・胆沢郡・
西磐井郡・気仙郡
宮城県気仙沼市（旧日本吉町を
除く）・栗原市・登米市

経営理念（企業精神として未来永劫不変なもの）

1. 所期奉公（社会貢献）
2. 処事公明（コンプライアンスとオープンな経営）
3. 浮利不追（社会的妥当性の判断）
4. 裾野金融（弱者支援）

基本方針（企業の目標）

1. 金融システムを通じて地域に円滑な資金供給を行い、金融サービスを通して地域経済の繁栄に寄与する。
2. 金融環境の変化に適応できる内部管理体制を構築し、事業を継続し続け、地域社会の安寧秩序を守る役割を果たす。
3. 役職員の幸せを通して、地域社会の繁栄と幸福に貢献し、堅実、健全な経営を行う。

クレド（行動指針）

1. 私たちは、地域社会の繁栄と幸福のために、金融業務を通じて何ができるかを常に考え、お客様に喜ばれる金融サービスを実践します。
2. 私たちは、常にお客様に対して感謝の気持ちを持って接し、「ありがとうございます」「おかげさまで」という気持ちを、言葉と行動で示します。
3. 私たちは、互いに助け合い、戒めあい、活気ある明るい職場を作ります。

釣山公園（一関市）

I. 令和4年度決算サマリー 1. 収益状況（損益計算書）

- コア業務純益は、経費の減少などにより、前期比2百万円増加しました。
- 当期純利益は、臨時損益が減少し、前期比83百万円減少しました。

損益計算書

(単位：百万円)

科目	令和3年度	令和4年度	増減
業務粗利益	2,488	① 2,497	8
資金利益	2,441	2,325	▲116
役務取引等利益	40	17	▲22
その他業務利益	7	155	148
経費	2,049	1,923	▲126
一般貸倒引当金繰入額(▲)	17	4	▲13
業務純益	421	② 569	148
コア業務純益	442	444	2
除く投資信託解約損益	407	444	37
臨時損益	▲50	③ ▲294	▲243
うち不良債権処理額	▲64	▲290	▲225
うち株式等関係損益	7	0	▲7
経常利益	370	④ 275	▲95
特別損益	▲5	▲0	5
法人税、住民税及び事業税	119	88	▲30
法人税等調整額(▲)	▲5	18	24
当期純利益	251	⑤ 167	▲83

令和4年度決算のポイント

① 業務粗利益

・貸出金利息の減少など資金利益が前期比116百万円減少したものの、債券関係損益を129百万円計上したことなどから、その他業務利益が同148百万円増加したため、前期比8百万円増加し2,497百万円となりました。

② 業務純益

・人件費（前期比▲55百万円）と物件費（同▲69百万円）の減少により経費が同126百万円減少したことから、前期比148百万円増加し569百万円となりました。

③ 臨時損益

・個別貸倒引当金を295百万円（前期比+218百万円）を繰り入れたことにより臨時費用が同220百万円増加したことから、前期比243百万円減少し294百万円の損失となりました。

④ 経常利益

・経費が大きく減少したものの、不良債権処理に伴う貸倒引当金が増加したことから、前期比95百万円減少の275百万円となりました。

⑤ 当期純利益

・上記の結果、前期比83百万円の減益となりましたが、167百万円の利益を確保しました。

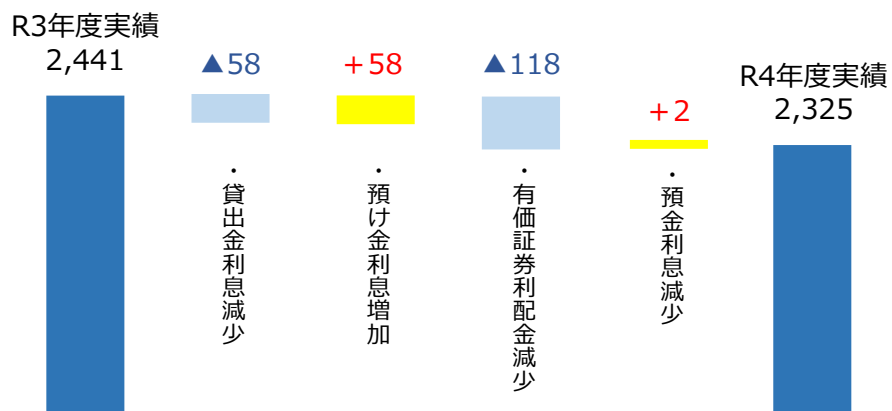
※当ページの計数は決算速報によります。5

I. 令和4年度決算サマリー 2. 前期比要因分析

- 預け金利息は増加したものの、貸出金利息と有価証券利息配当金が減少したことなどから、資金利益は前期比116百万円減少しました。
- 資金利益や役務取引等利益が減少したものの、債券関係損益の計上によりその他業務利益が増加したことから、業務利益は増加しました。

資金利益

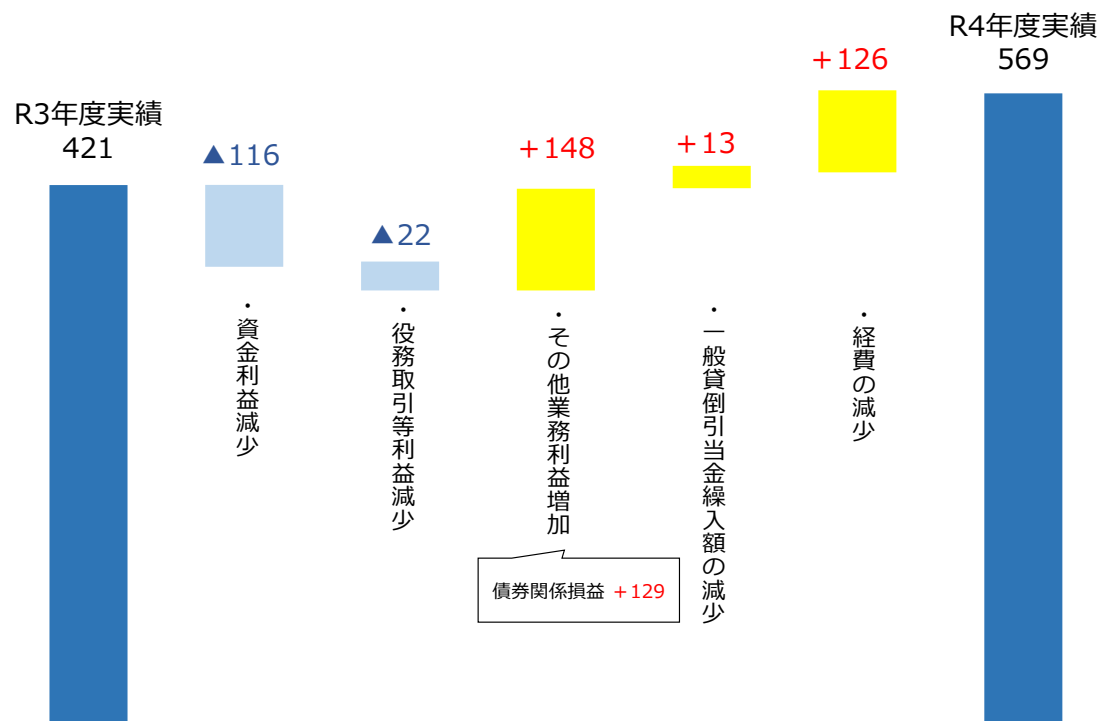
(単位：百万円)



科目	令和3年度	令和4年度	増減
資金利益	2,441	2,325	▲116
資金運用収益	2,471	2,352	▲119
うち貸出金利息	1,527	1,469	▲58
うち預け金利息	36	94	58
うち有価証券利息配当金	883	765	▲118
資金調達費用	30	27	▲2
うち預金利息	30	27	▲2
うち借入金利息	-	-	-

業務純益

(単位：百万円)



※債券関係損益…国債等債券売却損益+国債等債券償還損益+国債等債券償却

I. 令和4年度決算サマリー 3. 主要勘定残高（貸借対照表）

(単位：百万円)

科目	令和3年度	令和4年度	増減
(資産の部)			
現金	3,127	3,827	700
預け金	88,341	65,070	▲23,271
買入金銭債権	141	107	▲34
金銭の信託	-	-	-
有価証券	96,451	86,704	▲9,746
貸出金	97,371	95,063	▲2,307
その他	910	910	-
その他資産	496	471	▲25
有形固定資産	1,022	1,029	6
無形固定資産	50	43	▲7
前払年金費用	435	469	33
繰延税金資産	-	182	182
債務保証見返	688	760	72
貸倒引当金(▲)	572	871	299
その他の引当金(▲)	-	-	-
資産の部 合計	288,465	253,768	▲34,697

詳しくは10ページ
をご覧ください。

詳しくは11ページ
をご覧ください。

詳しくは9ページ
をご覧ください。

科目	令和3年度	令和4年度	増減
(負債の部)			
預金積金	245,193	242,189	▲3,004
借入金	30,000	-	▲30,000
その他負債	252	244	▲8
役員退職慰労引当金	60	38	▲22
その他の引当金	40	26	▲13
繰延税金負債	8	-	▲8
債務保証	688	760	72
負債の部 合計	276,244	243,258	▲32,985
(純資産の部)			
出資金	753	749	▲3
利益剰余金	11,592	11,745	152
会員勘定合計	12,345	12,494	149
その他有価証券評価差額金	▲124	▲1,984	▲1,860
純資産の部 合計	12,221	10,509	▲1,711
負債及び純資産の部 合計	288,465	253,768	▲34,697



※当ページの計数は決算速報によります。7

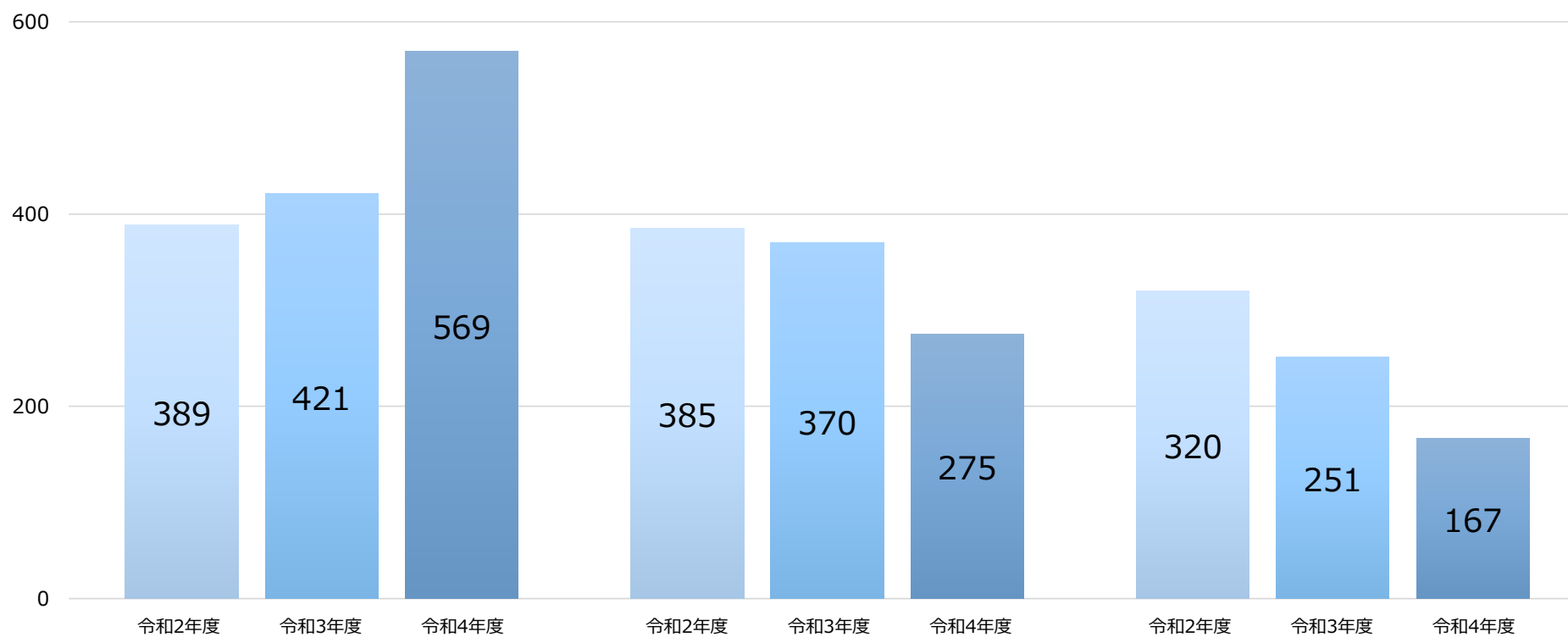
Ⅱ.令和4年度業績の概要 1.直近3か年の推移

業務純益

経常利益

当期純利益

(単位：百万円)



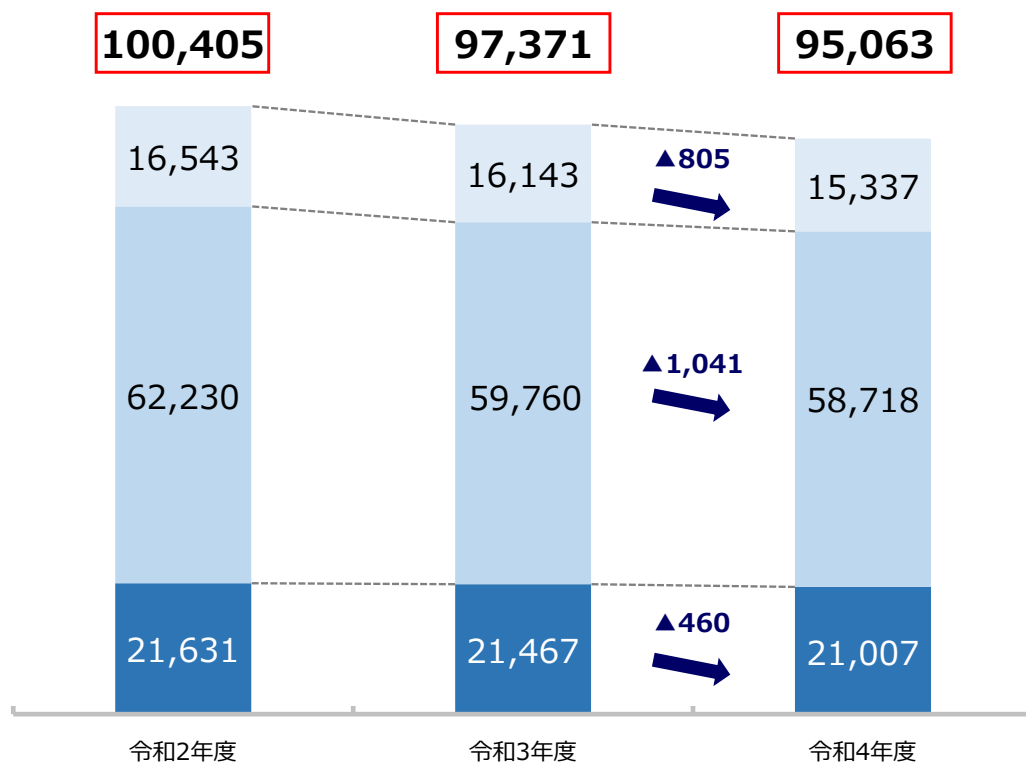
Ⅱ.令和4年度業績の概要 2.貸出金の状況

●新型コロナウイルス感染症関連資金を中心とした資金需要が一服したことから事業資金が減少するとともに、消費需要の低迷に加え、半導体不足による自動車など耐久消費財の納期の遅れなどによって消費資金が減少したことから、残高は全体で前期比2,307百万円減少の95,063百万円となりました。

残高の内訳

(単位：百万円)

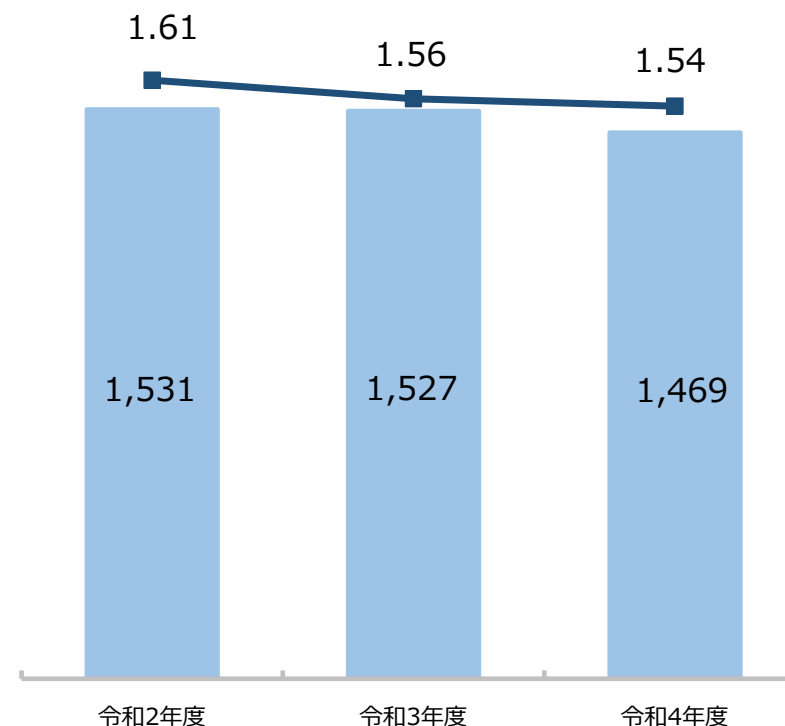
■消費資金 ■事業資金 ■地公体



利息・利回り

(単位：百万円,%)

■貸出金利息 ■貸出金利回り



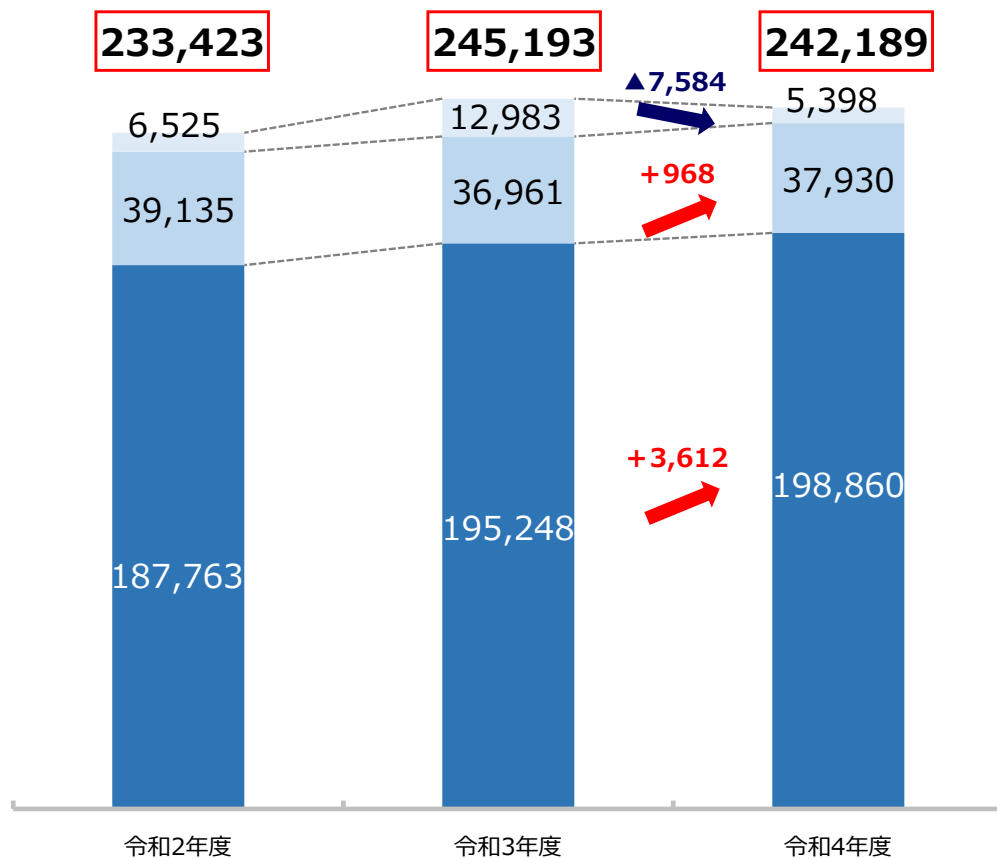
Ⅱ.令和4年度業績の概要 3.預金積金の状況

- 給与や年金振込指定口座の推進などにより個人預金が増加し、法人預金も増加したものの、地公体預金が減少したことから、残高は全体で前期比3,004百万円減少の242,189百万円となりました。

残高の内訳

(単位：百万円)

■個人 ■法人 ■地公体



MEMO

令和4年9月5日付ニッキンレポートにおいて、全国248信金を対象とした「令和4年3月期・協同組織金融機関統一決算調査」の結果が公表され、当金庫の個人預金残高増加率が全国10位となりました。

多くのお客さまから年金や給与の振込口座指定をいただいた結果であり、**個人預金残高の伸長は地域から信頼を得ているバロメーター**ともいえます。役職員一同、更なるサービス向上に取り組んでまいります。

表1 個人預金残高増加率
上位13信金 (22/3)

信 金 名	個人預金残高		
	22/3	前期末比 増加額	同 増加率
湖 東	1,767	178	11.2
大 阪 厚 生	14,561	1,114	8.3
島 根 中 央	1,821	128	7.6
杜 の 都	3,875	240	6.6
世 田 谷	1,966	94	5.0
川 口	7,197	314	4.6
西 尾	10,313	449	4.6
渡 島	1,721	71	4.3
大 川	1,232	48	4.1
さ が み	6,906	266	4.0
鳥 取	1,542	59	4.0
一 関	1,952	75	4.0
但 陽	7,325	280	4.0

(注) 単位：億円、%

令和4年9月5日付「ニッキンレポート」

Ⅱ.令和4年度業績の概要 4.有価証券の状況

●エネルギー価格を中心とした世界的な物価上昇を抑制するため、各国中央銀行が継続的な利上げを行ったことによる市場金利の上昇に伴い、残存期間の長い債券を売却するとともに、預け金での収益確保に努め、有価証券残高は前期比9,746百万円減少の86,704百万円となりました。また、日本銀行による新型コロナウイルス感染症対応金融支援特別オペレーションが終了したことから、預け金残高は前期比23,271百万円減少の65,070百万円となりました。

残高の内訳

(単位：百万円)

科目	令和3年度		令和4年度	
	残高	構成比	残高	構成比
国債	2,327	2.41%	868	1.00%
地方債	17,389	18.03%	12,107	13.96%
社債	61,248	63.50%	57,580	66.41%
外国証券	15,414	15.98%	16,068	18.53%
株式	31	0.04%	34	0.05%
その他	39	0.04%	43	0.05%
有価証券 合計	96,451	100.00%	86,704	100.00%

※「その他」は、優先出資証券です。

関係損益

(単位：百万円)

科目	令和3年度	令和4年度	増減
有価証券利息配当金	883	765	▲118
うち投資信託解約益	35	—	▲35
国債等債券関係損益	▲3	129	132
うち国債等債券売却益	84	262	177
うち国債等債券売却損 (▲)	14	132	118
うち国債等債券償還損 (▲)	73	—	▲73
株式等関係損益	7	0	▲7
うち株式等売却益	7	0	▲7
うち株式等売却損 (▲)	—	—	—

市場動向

	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月
日経平均株価	29,178.80円	27,821.43円	28,041.48円
本邦国債10年	0.090%	0.210%	0.320%
米国国債10年	1.740%	2.340%	3.470%

※各年度の期末日における終値および利回りです。

昨年度、米国ではインフレを抑制するため、FRBが政策金利を断続的に引き上げました。本邦市場でも世界的なインフレ高進に連れ立ち、金利上昇がみられました。さらに、令和4年12月には日本銀行のイールドカーブ・コントロール政策の見直しがあり、長期金利は一時0.50%をつけました。令和5年4月からは総裁に植田和男氏が就任し、今後の政策運営に注目が集まっています。



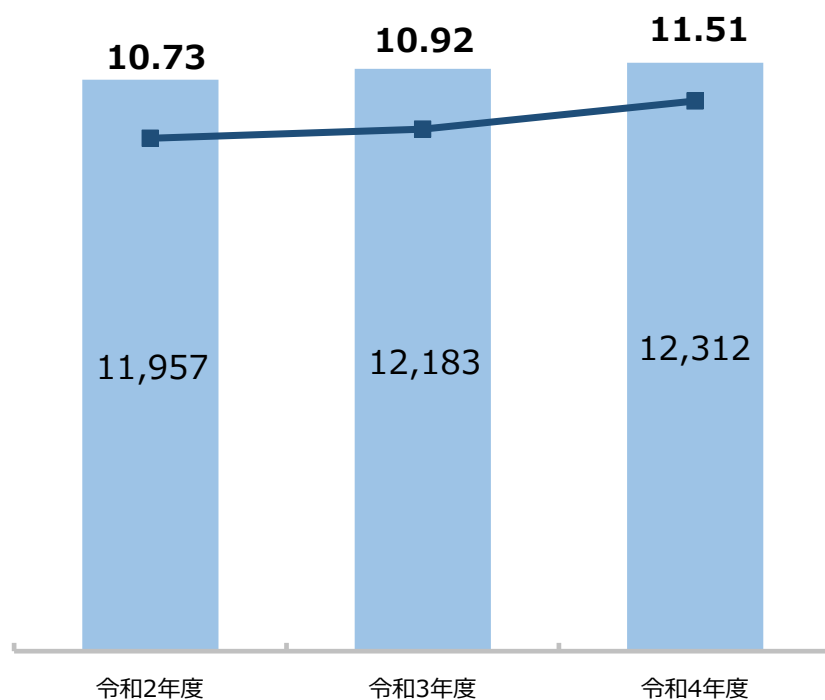
Ⅱ.令和4年度業績の概要 5.自己資本の状況

●健全性を示す指標である自己資本比率は、前期比0.59ポイント上昇して11.51%となり、健全な経営を維持しております。

自己資本比率

(単位：百万円,%)

■ 自己資本の額 ■ 自己資本比率



自己資本の構成

(単位：百万円)

	令和3年度	令和4年度	増減
コア資本に係る基礎項目の額	12,535	12,683	148
うち、出資金及び資本剰余金の額	753	749	▲3
うち、利益剰余金の額	11,592	11,745	152
うち、外部流出予定額 (▲)	14	14	0
うち、上記以外に該当するものの額	▲0	▲0	0
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	204	204	▲0
コア資本に係る調整項目の額	351	370	18
自己資本の額	12,183	12,312	129
リスク・アセット等の額の合計額	111,566	106,920	▲4,645

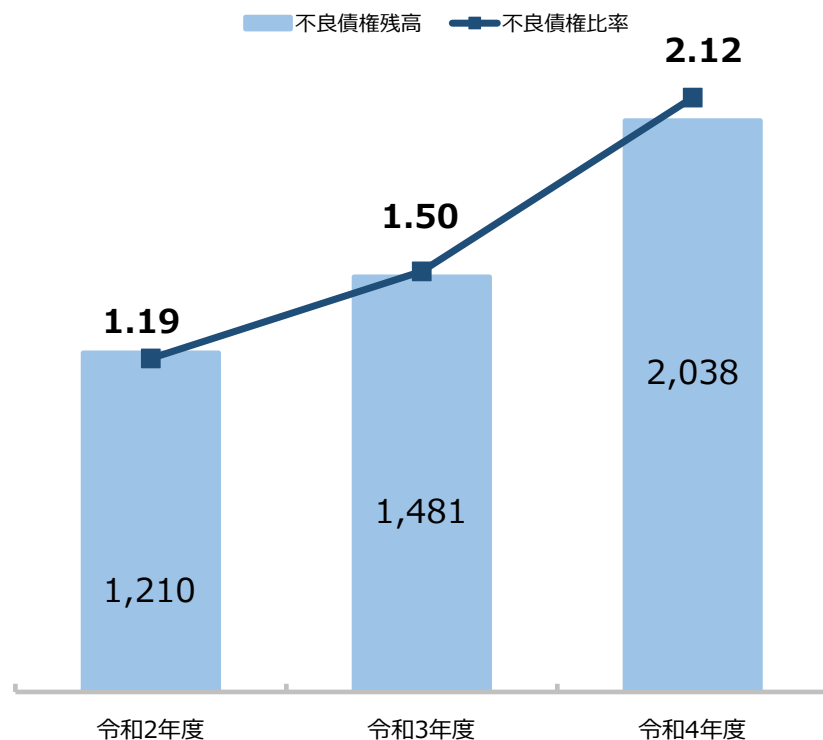


Ⅱ.令和4年度業績の概要 6.不良債権の状況 (金融再生法開示債権)

- 不良債権比率は、不良債権総額（分子）が前期比556百万円の増加となる一方、債権総額（分母）は同2,244百万円減少したため、前期比0.61ポイント上昇して2.12%となりました。

金融再生法開示債権残高・不良債権比率

(単位：百万円,%)



	令和3年度	令和4年度	増減
与信関連費用	81	294	212
一般貸倒引当金繰入額	17	4	▲13
不良債権処理額	64	290	225
個別貸倒引当金繰入額	77	295	218
貸出金償却	-	-	-
貸出金売却損	-	-	-
偶発損失引当金	▲8	▲2	5
償却債権取立益	▲4	▲3	1
貸倒引当金戻入益	-	-	-

	令和3年度	令和4年度	増減
開示不良債権	1,481	2,038	556
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	421	433	11
危険債権	1,045	1,522	477
要管理債権	14	82	67
正常債権	96,674	93,872	▲2,801

Ⅲ.今後の事業展開 1.中期経営計画「信頼の礎2025」

- 令和4年度から3か年の中期経営計画「信頼の礎2025」を策定し、役職員一同、ベクトルを合わせて業務に取り組んでおり、令和5年度は12のアクションプランのうち、5つを重点取組事項に設定しております。

中期経営計画「信頼の礎2025」の概要

令和4年度

Step1：金庫内体制の整備

- ◎ 重点取組事項
- ① チェンジ
- ⑦ 人材開発
- ⑨ 組織力の強化
- ⑫ 内部管理体制・マネロン対策

令和5年度

Step2：業務生産性の向上

- ◎ 重点取組事項
- ⑤ 付加価値業務の強化
- ⑥ 業務効率化の追求
- ⑦ 人材開発
- ⑧ 営業推進体制の強化
- ⑫ 内部管理体制・マネロン対策

令和6年度

信頼関係を構築

- ③ 顧客満足度（CS）の向上
- ④ 課題解決の取組強化



※丸囲みの数字はアクションプランの番号です。

中期経営計画「信頼の礎2025」の計数計画・実績

	項目	令和4年度実績値	令和5年度計画値	令和6年度計画値
◎ KGI	コア業務純益	444百万円	249百万円	396百万円
	総資金利鞘	0.16%	プラス維持	プラス維持
◎ KPI	預金平残	254,093百万円	255,000百万円	256,000百万円
	貸出金平残	95,397百万円	96,000百万円	97,500百万円
	貸出金利息	1,469百万円	1,460百万円	1,465百万円



Ⅲ.今後の事業展開 2.令和5年度事業計画

● 中期経営計画2年目となる今年度は、4つの社会的テーマと2つの業界内テーマを認識し、戦略的業務として取り組みます。

社会的テーマ

SDGs



脱炭素

(カーボンニュートラル)

DX

(デジタル・トランスフォーメーション)

女性活躍推進

- ・紙資源使用の削減（前年度比▲20%）
- ・しんきんSDG私募債「ともに未来へ」引受け
- ・お客さまへ「SDGs対応度簡易診断」提供

「SDGsの達成に向けた取組」について、詳しくは17ページをご覧ください。

- ・「脱炭素」ローン商品作成
- ・本部棟省エネ診断受診
- ・電気自動車（EV）導入

- ・「スマホ教室」開催
- ・新たな決済サービスの提供
- ・リコージャパン(株)さまとの合同勉強会実施 など

少額の送金が簡単にできる「こたら送金」や当金庫法人インターネットバンキングのアプリの導入を目指します。

- ・「女性活躍推進プロジェクトチーム」立上げ

業界内テーマ

お客さま支援

- ・「ゼロゼロ融資」返済開始の本格化
- ・物価高騰対策

- ・徹底的な伴走型支援
- ・外部提携先との連携強化

人的資本（投資）

IV.トピックス 1.庶務の概要

第74期通常総代会

令和5年6月16日、一関市山目字三反田179、ベリーノホテル一関において第74期通常総代会を開催し、次の事項について報告および付議いたしました。

- (1) 報告事項
 - ・監査報告
 - ・第74期業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件
- (2) 決議事項
 - 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- (3) 報告事項
 - ・店舗戦略について

※以上の議案について原案どおり承認可決されました。

(単位：円)

科目	金額
当期末処分剰余金	645,951,140
積立金取崩額	-
剰余金処分額	14,936,633
利益準備金	-
普通出資に対する配当金（年2%）	14,936,633
特別積立金	-
繰越金（当期末残高）	631,014,507



本総代会において報告された第74期事業年度の計算書類（貸借対照表、損益計算書）は、18ページから19ページに掲載しております。

庶務事項

令和4年6月26日…一関インター支店の日曜日窓口営業を終了いたしました。

令和4年10月3日…パーソルホールディングス㈱「Loino」の取扱いを開始いたしました。

令和4年12月20日…損害保険ジャパン㈱と「SDGsに関する包括連携協定」を締結いたしました。

登記事項

令和5年4月6日…令和5年3月31日現在における出資の総口数1,498,691口および総額749,345,500円への変更登記。



IV.トピックス 2.SDGsの達成に向けた取組

● 当金庫は、「持続可能な社会の実現」を目指し、SDGsの達成に向けた取組を進めています。

SDGsとは



2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

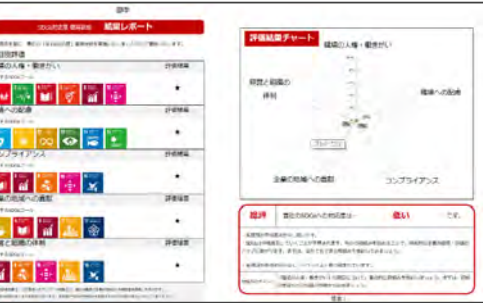
■しんきんSDGs私募債「ともに未来へ」

私募債発行に際して当金庫が受け取る発行手数料の一部をもとに、お客さまが地域の教育機関などに物品を寄贈し、お客さまの資金調達とSDGsに対する活動を同時に支援する商品です。



■「SDGs対応度簡易診断」

「SDGsに関する包括連携協定」を締結した損害保険ジャパン(株)が提供するツールです。お客さまには45の設問にご回答いただき、その結果をもとに簡易的なレポートが作成されます。



■清掃活動の実施



■職場見学の受入れ



■収益金や使用済み切手の寄附



科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	円	(負債の部)	円
現 金	3,827,802,325	預 金 積 金	242,189,062,675
預 け 金	65,070,745,174	当 座 預 金	839,785,278
買 入 手 形	0	普 通 預 金	128,085,383,395
コ ー ル ロ ー ン	0	貯 蓄 預 金	1,334,632,004
買 現 先 勘 定	0	通 知 預 金	104,200,331
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	0	定 期 預 金	102,197,263,026
買 入 金 銭 債 権	107,733,559	定 期 積 金	8,607,239,000
金 銭 の 信 託	0	そ の 他 の 預 金	1,020,559,641
商 品 有 価 証 券	0	譲 渡 性 預 金	0
商 品 国 債	0	借 用 金	0
商 品 地 方 債	0	借 入 金	0
商 品 政 府 保 証 債	0	当 座 借 越	0
そ の 他 の 商 品 有 価 証 券	0	再 割 引 手 形	0
有 価 証 券	86,704,235,731	売 渡 手 形	0
国 債	868,989,500	コ ー ル マ ネ ー	0
地 方 債	12,107,751,865	売 現 先 勘 定	0
短 期 社 債	0	債 券 貸 借 取 引 受 入 担 保 金	0
社 債	57,580,535,045	コ マ ー シ ャ ル ・ ペ ー パ ー	0
株 式	34,492,321	外 国 為 替	0
そ の 他 の 証 券 金	16,112,467,000	外 国 他 店 預 り	0
貸 出 金	95,063,695,941	外 国 他 店 借	0
割 引 手 形	273,297,725	売 渡 外 国 為 替	0
手 形 貸 付	4,132,409,712	未 払 外 国 為 替	0
証 書 貸 付	84,063,122,160	そ の 他 負 債	244,094,498
当 座 貸 越	6,594,866,344	未 決 済 為 替 借	45,129,317
外 国 為 替	0	未 払 費 用	38,249,985
外 国 他 店 預 け	0	給 付 補 填 備 金	4,860,055
外 国 他 店 貸	0	未 払 法 人 税 等	83,738,900
買 入 外 国 為 替	0	前 受 収 益	17,450,123
取 立 外 国 為 替	0	払 戻 未 済 金	4,467,000
そ の 他 の 資 産	1,381,586,690	払 戻 未 済 持 分	11,486,500
未 決 済 為 替 貸	45,425,277	職 員 預 り 金	0
信 金 中 金 出 資 金	910,200,000	先 物 取 引 受 入 証 拠 金	0
前 払 費 用	0	先 物 取 引 差 金 勘 定	0
未 収 収 益	330,291,680	借 入 商 品 債 券	0
先 物 取 引 差 入 証 拠 金	0	借 入 有 価 証 券	0
先 物 取 引 差 金 勘 定	0	売 付 商 品 債 券	0
保 管 有 価 証 券 等	0	売 付 債 券	0
金 融 派 生 商 品	0	金 融 派 生 商 品	0
金 融 商 品 等 差 入 担 保 金	0	金 融 商 品 等 受 入 担 保 金	0
リ ー ス 投 資 資 産	0	リ ー ス 債 務	0
そ の 他 の 資 産	95,669,733	資 産 除 去 債 務	0
有 形 固 定 資 産	1,029,371,591	そ の 他 の 負 債 金	38,712,618
建 物	407,971,670	賞 与 引 当 金	0
地 士	472,913,083	役 員 賞 与 引 当 金	0
リ ー ス 資 産	0	退 職 給 付 引 当 金	0
建 設 仮 勘 定	0	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	38,330,000
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	148,486,838	震 災 被 害 修 繕 引 当 金	0
無 形 固 定 資 産	43,367,518	そ の 他 の 引 当 金	26,825,373
ソ フ ト ウ ェ ア	27,633,570	特 別 法 上 の 引 当 金	0
の れ	0	金 融 商 品 取 引 責 任 準 備 金	0
リ ー ス 資 産	0	繰 延 税 金 負 債	0
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	15,733,948	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	0
前 払 年 金 費 用	469,102,914	債 務 保 証	630,340,000
繰 延 税 金 資 産	182,006,702	負 債 の 部 合 計	243,128,652,546
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 資 産	0	(純資産の部)	
債 務 保 証 見 返	630,340,000	出 資 金	749,345,500
貸 倒 引 当 金	△ 871,477,316	普 通 出 資 金	749,345,500
(うち個別貸倒引当金)	△ 689,318,256	優 先 出 資 金	0
そ の 他 の 引 当 金	△ 0	優 先 出 資 申 込 証 拠 金	0
		資 本 剰 余 金	0
		資 本 準 備 金	0
		そ の 他 資 本 剰 余 金	0
		利 益 剰 余 金	11,745,089,140
		利 益 準 備 金	753,293,500
		そ の 他 利 益 剰 余 金	10,991,795,640
		特 別 積 立 金	10,345,844,500
		当 期 未 処 分 剰 余 金	645,951,140
		処 分 未 済 持 分	△ 40,000
		自 己 優 先 出 資	△ 0
		自 己 優 先 出 資 申 込 証 拠 金	0
		会 員 勘 定 合 計	12,494,394,640
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 1,984,536,357
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	0
		土 地 再 評 価 差 額 金	0
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 1,984,536,357
		純 資 産 の 部 合 計	10,509,858,283
資 産 の 部 合 計	253,638,510,829	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	253,638,510,829

科 目	金 額	額
経常収益		2,906,736,092 円
資金運用収益	2,352,405,791	
貸出金利息	1,469,137,216	
預け金利息	94,944,338	
買入手形利息	0	
コールローン利息	0	
買現先利息	0	
債券貸借取引受入利息	0	
有価証券利息配当金	765,239,524	
金利スワップ受入利息	0	
その他の受入利息	23,084,713	
役務取引等収益	256,852,825	
受入為替手数料	117,762,165	
その他の役務収益	139,090,660	
その他の業務収益	289,056,383	
外国為替売買益	0	
商品有価証券売買益	0	
国債等債券売却益	262,544,574	
国債等債券償還益	0	
金融派生商品収益	0	
その他の業務収益	26,511,809	
その他の経常収益	8,421,093	
貸倒引当金戻入益	0	
償却債権取立益	3,317,226	
株式等売却益	999	
金銭の信託運用益	0	
その他の経常収益	5,102,868	
経常費用		2,631,296,989
資金調達費用	27,382,444	
預金利息	24,927,912	
給付補填備金繰入額	2,454,532	
譲渡性預金利息	0	
借入金利息	0	
売渡手形利息	0	
コールマネー利息	0	
売現先利息	0	
債券貸借取引支払利息	0	
コマース・ペーパー利息	0	
金利スワップ支払利息	0	
その他の支払利息	0	
役務取引等費用	239,558,097	
支払為替手数料	10,030,772	
その他の役務費用	229,527,325	
その他の業務費用	133,457,369	
外国為替売買損	0	
商品有価証券売買損	0	
国債等債券売却損	132,878,000	
国債等債券償還損	0	
国債等債券償却	0	
金融派生商品費用	0	
その他の業務費用	579,369	
経常費用	1,926,017,036	
人件費	1,176,730,345	
物件費	678,901,062	
税金	70,385,629	
その他の経常費用	304,882,043	
貸倒引当金繰入額	300,217,879	
貸出金償却	0	
株式等売却損	0	
株式等償却	0	
金銭の信託運用損	0	
その他の資産償却	263,131	
その他の経常費用	4,401,033	
経常利益		275,439,103
特別利益		0
固定資産処分益	0	
負のれん発生益	0	
金融商品取引責任準備金取崩額	0	
子会社清算益	0	
その他の特別利益	0	
特別損		419,498
固定資産処分損	222,998	
減損損	0	
金融商品取引責任準備金繰入額	0	
その他の特別損	196,500	
税引前当期純利益		275,019,605
法人税、住民税及び事業税	88,685,211	
法人税等調整額	18,674,361	
法人税等合計		107,359,572
当期純利益		167,660,033
繰越金(当期首残高)		478,291,107
当期未処分剰余金		645,951,140



NEWS

幅広い世代に当金庫のSDGsへの取組姿勢を示すために作成した「SDGsポスター」が、全国信栄懇話会主催「第42回信用金庫PRコンクール」ポスター部門にて優秀賞に選出されました。

このポスターは、一関市在住のアーティスト・有華氏にデザインを依頼し、当地域の方言である「そすたなこと」（小さなこと）を積み重ね、「サステなこと」（サステナブル＝持続可能なこと）へとしたスローガンをイラストにいただきました。キャラクターには、当地域でよく見かける「たぬき」をモチーフにして「そすたぬき」と名付け、「そすたなこと」を「サステなこと」に化かしていきたいとの願いを込めました。



そすたぬき 有華©

●企画・編集●

〒021-0024 岩手県一関市幸町5番5号

TEL 0191-23-6111（代表）

一関信用金庫総合企画部